

2015年度年末社員懇親会スピーチ原稿(広報版)

代表取締役社長 石和田 雄二

<はじめに>

アイヴィス社員並びに一緒に仕事をして頂いている関係者の皆さん、
一年間お疲れ様でした。
皆さんの頑張りで会社は大きく成長、今年も二桁成長が見えています。

年末恒例の社員懇親会、一年の掉尾を飾る伝統の節目イベントです。
是非、楽しい時間を過ごして頂きたいと思います。

第一回は平成元年、今から27年前、銀座の風月堂でスタートしましたが、
バブルの名残りの暮れも押し詰まった20日過ぎ、
社員と共に、協力企業SVCやお客様など、40名近くの方が集まりました。
クリスマスパーティーと重なり、
窓外の大きなクリスマスツリーとイルミネーション、
バブルの余韻を残す喧騒な街と街行く人々の幸せそうな姿が思い出される。
お客様を交えたパーティも盛り上がり、接待役の私もバカ騒ぎをしました。
(余談： 今だから言えるが、その時の私は告知を受けた病床の妹を想い、
心の中は、張り裂ける様に辛く、真っ暗でした・・・)
年年歳歳、会社の成長と共に年末懇親会も変化し、思い出を積上げて行く。

今年は新卒社員44名を迎え、社員数が初めて400名を超えた年であり、
リーマン危機後、越え難かった売上30億の壁も越え、36億に届きます。
アベノミクスもあり、国内は比較的穏やかな経営環境が続き、
ITサービスの大きな革新期、
新技術をベースにした更新需要も膨らんで行く筈です。
2020年に向けてラグビーのW杯や東京オリンピックも控えています。
会社として経験する初めての成長発展の実感、未来を拓く絶好の機会です。
今年の年末懇親会も、
当社の新しい歴史を拓く思い出深い楽しい会になることを期待しています。

この一年間、頑張った仲間が一堂に会し、過去に学び未来を語合うひと時、
一年を振り返り、思い出とITの未来を語って楽しい時間を過ごして下さい。

<IVIS2015 活躍した社員 ベスト 3>

一年の総括、少し堅い話になるが、今年を振り返ってみたいと思います。
本題は、「今年の思い出に残る出来事 ベスト 10」ですが、
その前に「今年活躍した社員 ベスト 3」を発表する。

会社の業績は抽象的なものではなく、1人ひとりの活躍が成果に繋がって行く、
現場で一緒に仕事をしていないので、正解かどうか不安になる所があるが、
人に名前を出した方が、皆さんの印象に残ると思います。

年に一度のお祭りなので、過ちや誤解を恐れず、敢えて私見を発表します。
賞品も賞状もない、口頭だけのベスト 3__セレクションです。

分野は、業績貢献度ベスト 3、開拓、指導、若手技術ベスト 3、の 4 部門です。

○ 貢献度ベスト 3

- ① 小山 紀之 [MSS 担当 ; ディスコ PRJ]、
- ② 坂本 一彦 [TSS 担当 ; T-WAVE PRJ]、
- ③ 古性 和義 [BSS 担当 ; 決済 PLF PRJ]、
潘 騏 [SSS 担当 ; みずほ銀基盤 PRJ]

○ 新分野ベスト 3

- ① 谷口 達樹 [応技開所属 ; 画像処理や AI の新分野]、
- ② 馬場 寿 [OSS 所属 ; GlobalPortal で顧客開拓]、
- ③ 廣瀬 尚三 [OSS 所属 ; 科技系 S 社との業務開拓]、
山本 武史 [NSS 所属 ; TNGA 開発参加へ道開く]

○ 指導性ベスト 3

- ① 寺尾 雄太 [ESS-GM ; IHI 空本関連業務チームの役割]、
- ② 高田 陽平 [SSS-GM ; NUL BankFIT チームの役割]、
- ③ 佐藤 哲也 [BSS-GM ; NUL CCR 設計チームの役割]、
大林 英之 [NSS-GM ; TCS 機能安全チームの役割]

○ 若手技術賞ベスト 3

- ① 村山 善透 [応技開所属 ; 機会学習関連技術の応用]、
- ② 川又 正武 [BSS 所属 ; WMS の安定化と顧客導入]、
- ③ 仁科 靖生 [TSS 所属 ; PDM の現場適応と安定化]、
楊 薇 [OSS 所属 ; 足計測商品の開発と実用化]

<IVIS2015年 思い出に残る出来事 ベスト10>

- ① **2014年度3月期決算**
～ 6年ぶりの売上30億円越え、32億5千万、今期も二桁成長です。
- ② **大プロジェクトのカットオーバー**
～ JPの輸送、ローソンの決済PFが動き、みずほ銀の基盤が終わる。
- ③ **年間を通じて活躍した安定成長プロジェクト**
～ 今年の稼ぎ頭はディスコ、新基盤導入移行とキャリタス衣替え。
- ④ **過去の遺産を活かした、発展的な横展開プロジェクト**
～ 働き方革新T-WAVEを超え、営業店GWから村田製Gポータル。
- ⑤ **トラブルを超えて着地、信用回復再生プロジェクト**
～ 正月早々のサントリー様の森、年末掉尾は牽引車、蘇るかIVIS。
- ⑥ **トヨタIT部門との厚みを増した関係と信用強化**
～ 本社推薦の現役出向、支社長入社でT社との絆が一段と強まった。
- ⑦ **SEC、FAE：新規顧客との安定的な取引拡大**
～ 手薄なE系業務先と基盤系業務先の両社、実績通じ取引安定拡大。
- ⑧ **先端技術の絞込みと相乗効果の可能性**
～ 人工知能を主軸に、画像処理、自己位置検知が繋がってSLAMへ。
- ⑨ **400名社員のフル稼働と新卒内定45名**
～ 技術基盤の人材の厚みと若い力、平均年齢33.5歳成長エネルギー。
- ⑩ **財務基盤の為に自社ビル購入と内外装で化粧直し**
～ 自社ビル7億、内外装費4千万、中小IVIS財務体質改善へ第一歩。

<思い出に残る出来事 番外3項目>

- 番外事象
- ☆ 賃金水準の見直しと賞与水準の復活第一歩
～ 賃上げ 5.4%+冬季賞与支給水準 2.0 ヶ月強。
 - ☆ 3BU 制による新規部門自立支援と相乗効果
～ E系 I系 B系で応技、東方、大阪の自立支援。
 - ☆ 先端技術を通じた NUL との新たな技術連繫
～ NUL 総研連携で画像、AI、Robot ビジネス化。

<おわりに>

最近、楽しいと言うか、嬉しいことがある。

それは、社名 IVIS が世の中の流れにマッチしてきたことです。

IVIS は Intelligent Vision and Image Systems、27 年前に付けた名前です。DARPA の Robot Challenge や Google、Apple の自動走行車が脚光を浴び、2 歳児程度の機械学習、DeepLearning の将来性発展性が見えた為ですが、気が付けば AI や Robot、IOT が新 IT 時代の中心に位置しています。名に恥じぬ実績を残し、一緒に IVIS の未来を拓いて行きたい。

来期入社予定の 45 名の内、国内採用組の 33 名の人も会場にいます。

これからの時間、不断話せぬ仲間たちと一年間の思い出を振り返り、未来を語り合って、楽しい一時をお過ごし下さい。